



# 平成武師道

## (人間活動学)

### 『科学』

夏という季節、暑くて大変である。

また、大雨が降ったかと思えば、全く降らずに水不足にも悩まされる。

まあ、天候の変化だけではどうしようもないのだが、天気予報も当てにならない。

ここ最近、レーダーも最新になり、雲の動きも細かく分かるようなことを自慢気にテレビで放映していた。

しかし、実際はそれほど当たるものではない。

あくまで予報は予報なのだ。

いくら科学が進化したからと言って、自然には敵わないのである。

確かに人類が誕生してから、我々は科学の力を以て、自然を凌駕してきた事もある。

しかし、所詮まだ自然には敵わない。

科学とは人の力。

天気予報ひとつ当たらないのでは、まだまだ人の力など大したことなどないのである。

地震だって、なんだかんだと言ってすぐに予想できる訳でもない。

ただ今の時代、急速に科学が発達しているのは認める。

だがそれを過信して、もっと大きな力を見失ってはいけない。

人間だけが当たり前前に生きていると勘違いせずに、もっと大きな力が働いていて、その力を感じる為にも周りを見渡す事が必要なのである。

そうすると、小さい事、細かい事に囚われていた自分が自然に見えてくるものだ。

巨大な力が存在するがこそ、我々は限られた時間、すなわち一生を何とかして充実したものにしようとするのではないだろうか。

そのなかでの「科学」が、自然の中の人間として得た力だと思う。

この先、宇宙にも容易に行ける時代がくるだろう。

そんな時代でも、天気予報は間違える事もあるはずだ。

それが人間の良さである。



武師道